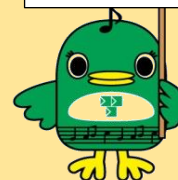


学校 習志野市教育委員会 教育だより

テーマ「新」



<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyouiku/gakkyodayori.html>

習志野市鷺沼 2-1-1 電話 047-451-1151 (代表)

平成30年2月13日発行 NO.91



式典の様子



実行委員の皆さん

第91号 目次

★日本の伝統

小中学校書初展 … 2

新春！地域の催し … 3

★教育アラカルト

学校の取組・行事 … 4

受賞・表彰おめでとう… 5

★習志野高校ニュース … 6



平成30年1月8日(月)習志野文化ホールにおいて「成人式典」ならびに「新成人を祝う集い」が開催され、1141人の新成人が参加しました。

当日は華やかな振り袖姿や凛々しいスーツ姿の新成人が晴れやかな表情で集まり、友人との再会に笑顔が溢れていました。

また、会場では中学校ごとに着席し、それぞれの座席で待っていた恩師を囲んだ和やかな歓談の様子がたくさん見られました。卒業アルバムをめくりながら当時を振り返り、懐かしんでいる姿も見られました。

第1部は厳粛な雰囲気の中での「式典」、第2部は実行委員が中心となって和やかな雰囲気の中での「集い」という構成で、充実した催しとなりました。

これからの習志野市の未来を担う新成人の皆さんの、益々の活躍を期待します。

小中学校書初展

新庁舎で
初開催！



会場風景



1月20日（土）から31日（水）までの12日間、「小中学校書初展」が開催されました。市立全小・中学校の各クラスから代表作品が集まるこの催し、会場は新しくなった市庁舎です。土日は、家族でいらっしゃる方が多く、平日は、市庁舎においでになった方が足を止めて見てくださる姿がたくさん見られました。御覧いただいた人数は1300人以上！大盛況でした。

また、力作揃いの中でも特に素晴らしいと認められた作品には特別賞が贈られ、27日（土）に市庁舎内のハミング階段ステージで表彰式が行われました。

特別賞受賞の皆さん、おめでとう！



市長賞・田留さん（谷津小）のコメント
大好きな書初で賞をとれてうれしいです。これからもがんばります。



<市長賞>

谷津小3年 田留 源太郎 さん

<議長賞>

第二中2年 福智 あみ さん

<教育長賞>

屋敷小6年 池田 咲陽 さん

<小中学校長会長賞>

谷津小2年 忠 紗英 さん

第三中3年 鈴木 葵 さん

<特別支援教育連盟会長賞>

鷺沼小4年 原田 幸輝 さん

第一中3年 久門 沙椰 さん

<市PTA連絡協議会長賞>

藤崎小5年 佐藤 有里子 さん

<文化連盟会長賞>

第二中1年 角田 彩乃 さん

<優秀賞>

袖ヶ浦西小1年 泉水 美華恵 さん

大久保小4年 旗持 花埜 さん

日本の伝統 ～新春！地域の行事～

門松 づくり

12月17日(日)に袖ヶ浦公民館で「門松づくり」が行われました。第三中学校陸上部の生徒が参加し、当日は、地域の方、三中生、近隣の小学生と一緒に門松づくりをしました。大きく立派な門松は、第三中学校、袖ヶ浦西小学校、袖ヶ浦東小学校に飾られました。門松をつくる家庭は今ではほとんど見られなくなっていますので、子ども達にとって良い経験になりました。



どんど 焼き

1月7日(日)には、袖ヶ浦近隣公園で「どんど焼き」が行われました。第三中学校ソフトボール部の生徒が火付け役を務めるだけでなく、裏で焼いたものを入れる穴を掘ったり、地域の方と共に参加者にふるまうおもちの準備をしたりと、大活躍でした。日本の伝統にふれるとともに、地域の方との交流は、貴重な体験となりました。



1月13日(土)屋敷公民館にて、「もちつきかるた大会」が行われました。

もち つき

もちつき大会では、第六中学校バスケットボール部の生徒が参加しました。男子はもちつき参加チケット配付ともちつき、女子はつきたてのおもちの盛り付け、食器の片づけと、大会の運営を担っていました。もちつきでは、地域の方にもちをつくコツを教えてもらい、重い杵を持ち上げ、地域の方と息の合ったもちつきを披露しました。将来、今度は地域の一員として、後輩に技を伝えてもらいたいです。

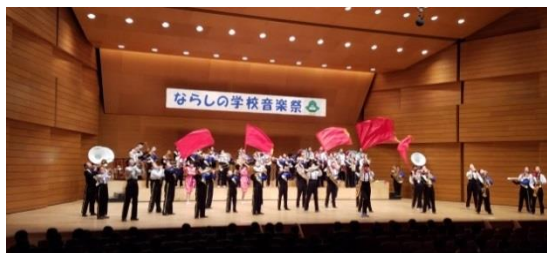
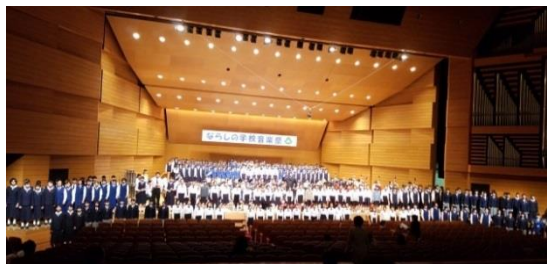
かるた 大会

公民館の和室では「習志野かるた」を使ってのかるた大会が行われました。

屋敷小学校の子ども達がたくさん参加していました。かるたを行いながら、習志野の街のことを学ぶことができました。



教育アラカルト -各学校の催し-

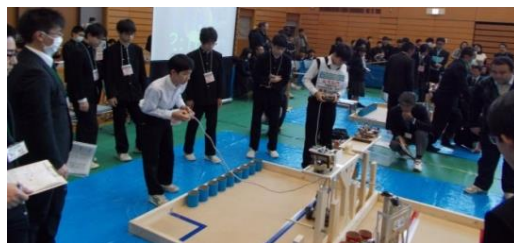


ならしの学校音楽祭

12月17日(日)に「ならしの学校音楽祭」が開催されました。開場前から、出場校の保護者だけでなく市民の方もたくさん並んでおり、「音楽の街 習志野」への期待の大きさを感じました。今年度は、習志野文化ホールの改修のため、例年より約3か月早い開催でしたが、全日本バンドフェスティバル金賞の大久保小学校、全日本マーチングコンテスト金賞の習志野高校、第二中学校、第四中学校をはじめ、素晴らしいハーモニーが響き渡りました。グランドフィナーレでは、参加児童生徒がステージに上がり、観客を圧倒する歌声を響かせました。

第一中学校 科学技術部

第一中学校の「科学技術部」は、毎年ロボットコンテストに出場しています。今年度は、チーム名「疾風 ver.4.0」(メンバーは高野 悠伍さん、田尻 智樹さん、木村 翔さん、續 蓮士郎さん、北条 公斗さん、石川 啓太さん)が、千葉県中学生創造ものづくり教育フェア創造アイデアロボットコンテスト部門最優秀賞(ロボコン大賞)を受賞し、千葉県の代表として、全国中学生創造ものづくり教育フェア関東甲信越大会に出場しました。そこでベスト8という立派な成績を収めた「疾風 ver.4.0」の皆さんは、来年度の全国大会の出場をめざし、現在もロボットの改良を重ねているそうです。



向山小学校 国際交流会

1月25日(木)、26日(金)、向山小学校で「国際交流会」が開催されました。留学生8名とALT3名を招き、1年生から6年生までの全学級で交流が行われました。コミュニケーションを取るための英会話を事前に練習し、プレゼントの準備、日本の遊びの紹介など、それぞれの学年で心のこもったもてなしをしていました。留学生も、自国の文化などの紹介を写真を使って行ったり、民族衣装を着たりしてくれました。自分の知っている英会話でコミュニケーションを取ったり、身ぶり手ぶりで伝え合ったりする姿が多く見られ、こうした交流が将来の子ども達には、生きた力になっていくことを感じました。

第29回五市合同技術・家庭科作品展 「千葉県立現代産業科学館長賞」

1月17日（水）から21日（日）まで開催された第29回五市合同技術・家庭科作品展において、第四中学校3年山本美波さんの作品が「千葉県立現代産業科学館長賞」という素晴らしい賞に選ばれました。審査員から『子どもの笑顔が浮かんでくる作品。生き生きとした絵本に仕上がっています』といった講評をいただきました。おめでとうございます！



受賞作品
「へんしん!!おりがみくん」



作品と並ぶ受賞者 山本美波さん

文部科学大臣優秀教職員表彰

各教育分野への多大な貢献により2名の教諭が受賞し、1月15日（月）に東京大学安田講堂で表彰されました。今後も後進への良き鑑となってくさるようお願いいたします。

第一中 織戸 弘和 教諭（音楽教育）
実籾小 高橋 千秋 教諭（特別支援教育）

救命感謝状贈呈式

1月29日（月）に市内の6名の教職員等が、習志野市消防長から感謝状をいただきました。AEDの大切さを改めて感じる機会となりました。毎年の救急救命講習に取り組む意識が市全体として高まっていくことを期待します。



第四中	高見 千草	教諭
鷺沼小	中村 吉宏	教諭
津田沼小	真坂 洋介	教諭
指導課	上原 宏	課長
指導課	近藤 篤史	指導主事
総合教育センター職員	井上 はるひ	さん

“社会を明るくする運動” 習志野地区作文コンテスト

〈最優秀賞〉

鷺沼小5年 村山 夢斗 さん
第六中1年 山本 彩夢 さん

中学生の「税についての作文」

〈東京国税局管内納税貯蓄組合連合会会長賞〉

〈千葉西税務署長賞〉

第二中3年 増田 花枝 さん

〈習志野市長賞〉

第五中3年 中山 里咲 さん

教育研究論文・実践記録 募集事業

〈最優秀賞〉 藤崎幼 川下 奈美 教諭
〈優秀賞〉 第七中 安西 裕哉 教諭
第三中 河村 和広 教諭
〈優良賞〉 実籾小 辻田 耕心 教諭
第二中 中山 剛 教諭

1月25日（木）に総合教育センターで報告会が開催されました。習志野市の大きな財産になったことと思います。御参加いただき、ありがとうございました。

習志野高校ニュース!

「保育実習を終えて」

習志野高等学校 3年B組 桑原 里奈

私は「家庭科研究」の授業の一環で「東習志野こども園」に7月と12月に保育実習に行かせていただきました。

7月はとても暑く、水遊びが保育の中心でした。最初は緊張しましたが、子ども達が元気に話しかけてくれたので、安心して実習に臨むことができました。私が担当した3歳児は話ができる子と苦手な子、我慢できる子となかなかできない子といった個人差が激しく、子ども達が伝えたいことを理解してあげられない時もあり、保育の難しさを知りました。そんな子ども達に寄り添い、接していらっしゃる先生方は本当にすごいと思いました。

12月に訪問した時には子ども達のクリスマス会に参加しました。子ども達が一生懸命発表する姿がけなげでかわいかったです。そして、私達も何か発表をと言われたので吹奏楽部の生徒が楽器を演奏し、私はバトン部だったこともあり、音楽に合わせて踊りました。中でも一番盛り上がってくれたのは「きらっとサンバ」です。私達と一緒に子ども達が立ち上がって踊ってくれたのはとても嬉しかったです。

この実習を通して、子ども達に関わることの楽しさや子ども達を預かるという責任の重さ感じました。幼い子ども達と関わる時にはこの実習で学んだことを生かしたいと思います。

私達を受け入れてくださり、多くのことを教えてくださった園の先生方に感謝しています。ありがとうございました。



クリスマス会で発表！子ども達も盛り上がってくれました。

編集後記

91号では「新」をテーマとし、**新**成人や**新**庁舎での書初展、そして、**新**春恒例の地域行事を中心にお届けしました。**新**しい年のスタートを飾る明るい話題が並び、気持ちも**新**たに頑張っていこうと思える号になりました。また取材では、地域の方とのふれあいで笑顔が溢れる子ども達の姿をたくさん見ました。その姿を見て改めて、家庭、学校、地域で子ども達を育てていくことの素晴らしさ、地域の力の大きさを感じました。これからも家庭、学校、地域が一体となり、習志野の子ども達を育てていきましょう。